

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

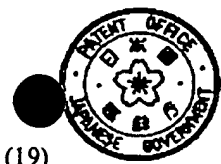
Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**



(19)

(11) Publication number:

62191246 A

Generated Document.

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(21) Application number: 61032591

(51) Intl. Cl.: B60Q 1/24

(22) Application date: 17.02.86

(30) Priority:

(43) Date of application  
publication: 21.08.87

(84) Designated contracting  
states:

(71) Applicant: YAMADA KIYOSHI

(72) Inventor: YAMADA KIYOSHI

(74) Representative:

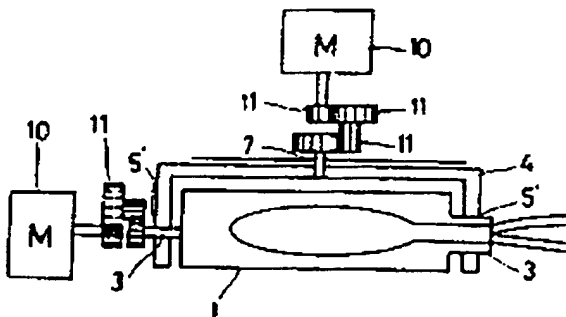
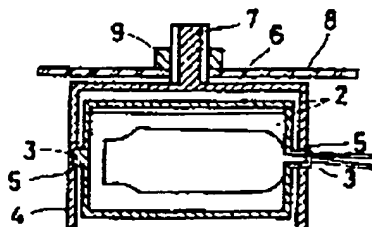
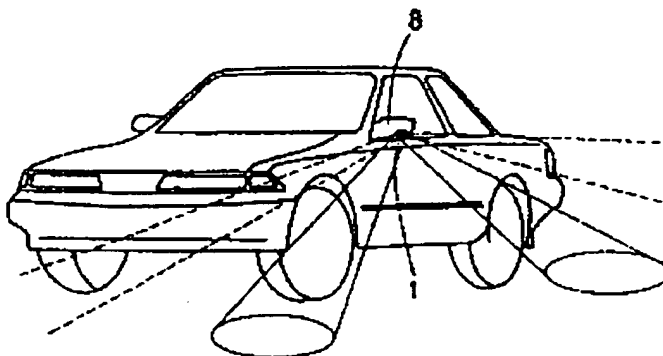
### (54) BODY SIDE LIGHTING AND ITS DEVICE

(57) Abstract:

**PURPOSE:** To improve safety at the time of driving in a dark place by installing a light rotatably up and down and right and left on the frame of a side mirror and irradiating the side part, etc. of a body as necessary.

**CONSTITUTION:** Shafts 3 are projectingly provided on both ends in the axial direction of a bulb 1, and are rotatably fitted in a frame body 4. A threaded rod 7 is projectingly provided on a frame body 5 and installed to the frame body 8 of a back mirror. And, by rotating the shafts 3 and the rod 7 by means of motors 10, 10, the bulb 1 can be rotated up and down and right and left. Accordingly, objects which exists in the right and left directions and upper and lower directions of a body can be irradiated by the bulb 1, increasing the range of view which can be irradiated while traveling even at the time of cornering on a mountain road at night, to carry out a safe driving.

COPYRIGHT: (C)1987 JPO&Japio



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 昭62-191246

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>  
B 60 Q 1/24

識別記号 庁内整理番号  
8410-3K

⑭ 公開 昭和62年(1987)8月21日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全3頁)

⑮ 発明の名称 車体側方照明灯並びにその装置

⑯ 特 願 昭61-32591

⑰ 出 願 昭61(1986)2月17日

⑱ 発 明 者 山 田 清 大阪市西成区岸里3-2-21-403  
⑲ 出 願 人 山 田 清 大阪市西成区岸里3-2-21-403  
⑳ 代 理 人 弁理士 秋山 鳳見 外2名

明 細 書

1. 発明の名称 車体側方照明灯並びにその装置

2. 特許請求の範囲

1. サイドミラー枠又は取付部に照射灯を、方向転換可能に取付けたことを特徴とする車体側方照明灯。

2. 電球の内部片面を反射体とし、枠体中に前記電球を上下方向に回転可能に取付け、前記枠体を自動車のサイドミラーの枠に左右方向に回転可能に取付けたことを特徴とする車体側方照明灯の照明装置。

3. 発明の詳細な説明

「産業上の利用分野」

この発明は自動車等の車体の側方向を上下左右に調節可能に照射し、暗所運転時において車体の側面又は車体の側方向等を容易に照射することの出来る照明灯並びにその照明装置を提供するものである。

「従来 技術」

従来、自動車等車輛においては前方向又は後方

向はヘッドライト、バックランプ等によって完全に照射し暗所運転においても、何等不便を感じない次第であるが、車体の側方向並びに近接した上下左右側の対象物に対しては照射手段を存しなかった次第である。

「発明が解決しようとする問題点」

前記のように自動車等車輛においては、車体の前方向又は後方向については暗所においても、充分照射して運転に支障がない次第であるが、車体の側面並びに車体の側面に近接した対象面等を照射する照明手段なく、暗所における運転に頗る不便を感じた次第である。このような不便を解消する手段を提供するのが本発明の目的である。

「問題点を解決するための手段」

前記目的を達成させるために、この発明は次のような構成とした。すなわち、この発明においてはサイドミラーの枠体に上下左右に回転出来る照射灯を付設するもので暗所においても、必要に応じて、該灯を上下左右に回転照射し、車体

側面又は左右上下方向に近接した対象物等を任意完全に照射することが出来、支障なく運転その他の操作が出来るもので、前記目的を完遂するものである。

「実施例並びに作用」

本発明実施の一例を示した添付図面について詳説するに、1は電球で、ハロゲンランプのような小形で照明度の高い電球を使用する。2は電球の片面内部に設けた不透明反射体である。3は電球の両端軸方向に突設したシャフトで、該電球を支持する枠体4の両端の凹部5或は軸孔5'に貫入して回転自在に嵌設し、該電球1を指頭で回転することにより、電球が上下方向に回転し、上下方向に広く照射することが出来るようにしたものである。6は該枠体5の上壁で、中央部に螺杆7を突設し、バックミラーの枠体8にナット9で止めるもので、枠体4を指頭で回転することにより電球1を左右方向に回転することが出来るものである。電動式の場合は第5図に示す如く、運転席より小型モーター10、

11等を作動させ、ギヤ11により減速して上下左右に回転させるものである。

「発明の効果」

本発明は前記のような構成で、夜間の後進、幅寄せ、駐車入れなどの際、この照明灯を使用することにより、暗所においても照明して安全を確かめることが出来、左右の調整が可能であるから、山道などコーナリングの際も視野を拡大照射し安全運転が出来、照明を前方に向ければ、補助ランプとして使用することが出来、照明灯は回転自在なため、夜間での前後輪のタイヤ取り替え、タイヤチェーンの取り付け、取り外し、並びに修理等の際は頗る便利であり、営業車では、お客の乗り降りの際、足元を照射してサービスすることが出来、更にこの照明灯は自在に回転出来るからサーチライトとしても使用出来る等効果域に大である。

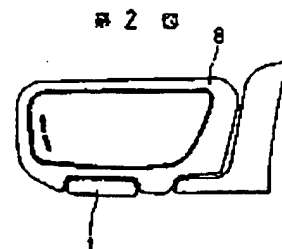
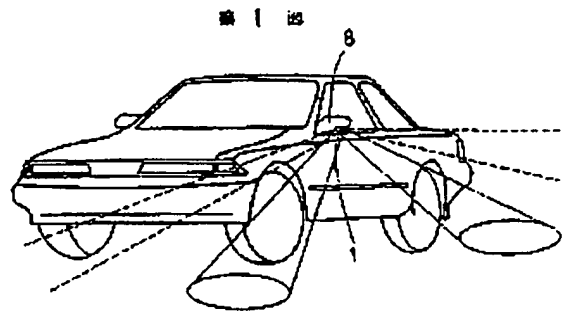
尚、本発明実施に当たっては指頭等で手動的に回転操作出来るようにすると共に、公知の電気回路を利用して第5図に示す如く車内より回転

操作も出来るもので、所望により任意構成利用すべきものである。

4. 図面の簡単な説明

添付図面は本発明実施の一例を示すもので、第1図は本発明を自動車に取り付けた場合の斜視図、第2図はバックミラーの正面図、第3図は枠体の斜視図、第4図は手動式の縦断面図、第5図は電動式の機構側面図である。

1…電球、2…不透明反射体、3…シャフト、4…枠体、5…枠体の凹部、5'…軸孔、6…上壁、7…螺杆、8…バックミラーの枠体、9…ナット、10…モーター、11…ギヤ。



出願人 山 田 浩

代理人 秋 山 昌 見

(ほか2名)



図 3

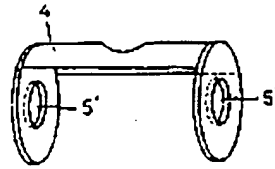


図 4

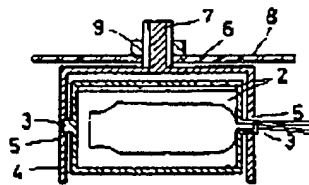


図 5

